

## 学びのデザインシート（授業前）

### 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【国語】

#### 1. 対象（実施を想定する学校・子供の実態の概要）

本学級の4年生の子供たちは、身近なことや経験したことについて話すことに意欲的である。興味や関心が高いものであれば、自ら情報収集をする姿も見られる。しかし、情報収集で満足してしまい、情報を整理して比較したり分類したりすることには課題がある。また、集めた情報を発表することや共有する意欲は高いが、各々が話したいことを伝えるだけになる場が多くある。したがって、本単元では、学習活動の計画を子供たちと練り、活動の目的や内容を意識したうえで活動の見通しをもちたい。子供たちは、必要な情報を集めたり、集めた資料の共通点や相違点に着目したりすることで共通理解をはかっていくだろう。それらの活動を経て、目的意識を明確にして問題解決のために話し合うことで学びを深めていく姿を期待する。

#### 2. 単元名 問題解決のために話し合おう

「安全マップを作って話し合おう」（全6時間）

#### 3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	・話し合う目的やめざす到達点、そこに向かう話し合いの進め方などを理解し、話し合う目的や必要性を理解して話し合っている。
思考力、判断力、表現力等	・目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめている。
学びに向かう力、人間性等	・進んで共通点や相違点を考え、問題を解決していくための話し合いのしかたを考えようとしている。

#### 4. 本時の目標

集めた資料から安全に避難するルートを考えようとした子供たちが、グループの友達と話し合ったり、他のグループの資料と比べ合ったり、もう一度、確認に行ったりなどの活動を通して、いざというときに自分たちだけでも安全に避難をするときには、何が大切か考えることができる。

#### 5. 授業展開【**本時**・単元】

<b>解決したい課題や問い</b>
自分たちだけでも安全に避難をするためには、何が大切だろう。

考えるための材料 1	考えるための材料 2	考えるための材料 3
学校マップ	他のグループの学校マップ	調査活動
想定される活動	想定される活動	想定される活動
・グループごとの分担をもとに学校を調査してマップをつくる。 ・危険箇所や出口の有無などをもとに、安全に避難できるルートを考える。	・比較したり、友達にインタビューをしたりする。そのなかで、共通点や相違点、または疑問点を見つける。	・疑問や不明瞭な箇所について、もう一度確認に行き、安全かどうか考える材料にする。

## 対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

### ①【グループでの対話】 →考えたいな。

○学校マップをもとに安全に避難するルートを考える。

- ・非常階段はあるけど、通路がせまくなっているからたくさんは通れないよ。
- ・棚がたくさんあるけれど、固定してあるから倒れる心配があまりないかも。
- ・消火器は廊下にたくさんあったよ。
- ・1階は出入り口がたくさんあるから、逃げやすいけれど不審者は入って来やすいよ。

### ②【グループごとの交流】 →比べたいな。知りたいな。

○他のグループの学校マップと比べたり、不明瞭な箇所を確かめたりする。

- ・同じ2階だけど、中校舎は非常階段を使えないね。
- ・1階は出入り口がたくさんあるね。でも、外の通り道がせまい所があるな。
- ・3階の外通路は急いで通ると危ないよね。
- ・どのくらいの狭さかもう一度たしかめに行きたいな。

### ③【個人または全体】 →聞きたいな。考えたいな。

○自分たちだけでも安全に避難をするためには、何が大切か考える。

集約した特徴をもとに、話し合いの柱を設定できるように意識する。

まず、個人で自分の考えをもつことで、自分ごととして捉えられるようにする。

- ・危険な場所や通れないところを知っておくといいね。
- ・知らない場所もたくさんあったから、学校の様子をしっかりと見ていたほうが安心だよ。
- ・どこになにかがあるのかわかると、いざというときに使うことができるよね。
- ・みんなの地図をまとめて、全校に知らせたらどうかな。

## 学習の成果（予想される子供のあらわれ）

自分たちだけでも安全に避難をするためには、何が大切か考えることができる。

- ・みんなの地図をまとめたいな。
- ・どんなまとめ方をしたら、いいだろう。
- ・できあがったら、全校のみんなにも見てもらいたいな。
- ・学校には、知らない場所がまだまだたくさんあったな。